

2013 年度（秋期）

横浜商科大学 別科日本語研修課程募集要項

Yokohama College of Commerce Japanese Language Course



横浜商科大学別科日本語研修課程事務室

日本国内からの問合せ先：電話 045-571-3901

日本国外からの問合せ先：電話 +81-45-571-3901

横浜商科大学 別科日本語研修課程募集要項

Yokohama College of Commerce Japanese Language Course

1. 横浜商科大学について

横浜商科大学は、横浜市鶴見区に横浜第一商業学校、短期大学を経て1968年に4年制の単科大学として開学しました。本学は、商学部には商学科、貿易・観光学科、経営情報学科の3学科をおき、現在、約1,500名の学生が在籍しています。そのうち、約70名がアジアからの外国人留学生です。横浜は、日本の経済・文化の中心地である東京や、名所・旧跡が点在する鎌倉などの近距離に位置しています。

また、このつるみキャンパスからは東京湾や横浜港、そして日本一高いランドマークタワー等を望むことができます。また、晴れた日には日本一の高さを誇る富士山を眺めることもでき、横浜の中心地に近く、住みやすい環境にあります。

2. 目的・概要

本学別科日本語研修課程（留学生別科）は、大学における教育の一環として位置づけられた正規の教育課程です。横浜商科大学をはじめ日本の大学・大学院進学をめざす外国人を対象に、日本語能力を育成します。あわせて日本での生活を円滑に送れるよう生活・文化・日本事情等を教育することを目的とします。

本課程を修了後は、横浜商科大学への入学または編入学の推薦を受けることができます。

3. 募集人数 30名

4. 入学時期・修学年限

入学時期： 4月および10月とします。

修業年限： 原則1年 最長2年を限度とします。

5. 出願資格

- (1) ①原則として、日本国外において学校教育における12年の課程を修了した者。または、同等以上の学力があると認められた者（母国の大学受験資格などの合格者）。
② 2013年3月に高等学校または同等以上の学校を卒業した者。
- (2) 日本語能力試験N5（旧4級）以上の合格者、または同等以上の学力があると認められた者。同等以上の学力については、募集要項の「9. 出願書類（1）-4 上記以外の者」、を参考にしてください。
- (3) 身元保証人を持つ者。身元保証人とは、原則として親権者（父・母）を指しますが、提携校からの入学希望者は、出身校の学校長でもかまいません。なお、20歳以上で別科修了まで学生生活・勉学等の指導に責任が持てる者も可とします。

6. 入学検定料 15,000 円

海外在住の志願者は入学検定料を指定の銀行口座に振り込み、その控えを「入学検定料振込確認票」(所定用紙)に貼付し、必ず FAX にて横浜商科大学 別科日本語研修課程事務室「045-571-4125」宛に送信してください。なお、入学検定料振込み後は、返金いたしません。日本在住の場合は「出願書類」の(4) その他(入学検定料)を参照してください。

入学検定料 振込銀行口座	みつびしとうきょう UFJ ぎんこう つるみしてん ふつうよきん
	三菱東京UFJ銀行 鶴見支店 普通預金 0145955
	がっこうほうじん よこはましょうかだいがく べっかにほんごけんしゅうかてい
	学校法人 横浜商科大学 別科日本語研修課程

Wire Transfer Information

Name: Yokohama College of Commerce ,Japanese Language Course

Account number: Ordinary Account 0145955

Bank address: Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ

1-3-17 Tsurumicho Tsurumiku Yokohama Japan 230-8577

*海外送金手数料や振込み手数料など、すべての手数料は志願者の負担となります。

7. 出願方法

- (1) 提携校・準提携校および大学が認めた紹介者の推薦による志願者は、郵送で出願してください。
- (2) それ以外の志願者は、郵送による出願か、本人または身元保証人が直接本学に持参してください。

8. 出願期間

- (1) 第一次募集 2013年4月4日(木)～2013年4月24日(水)
- (2) 第二次募集 2013年5月27日(月)～2013年6月12日(水)
- (3) 第三次募集 2013年8月30日(金)まで随時。(日本在住者のみ対象)

9. 出願書類

(1) 志願者の書類(志願者本人に関する書類)

1	入学願書(所定用紙)	本人が日本語で記入(代筆不可) (日本語で記入できない場合は日本語訳を添付)
2	卒業証明書	①最終出身校の卒業証明書(在学は卒業見込証明書) ②日本語訳添付(日本語学校や公的な機関で翻訳されたもの)

3	成績証明書	①高校から最終出身校までの各学年ごとの成績証明書 ②日本語訳添付（日本語学校や公的な機関で翻訳されたもの）	
4	日本語能力を証明する書類および資料	日本語能力試験（JLPT）N5（旧4級）以上の合格者	合格通知書及び成績原本のコピー
		上記以外の者	日本語能力試験 N5（旧4級）と同等の日本語能力を証明する書類として、次のもの（いずれか一つ）を参考 ①日本留学試験（EJU）、J. TEST 実用日本語検定、日本語 NAT-TEST 等公的試験の結果のコピー ②日本語教育機関による150時間以上の日本語学習証明書（学習期間・学習時間・出席率・評価・使用テキストが記載されたもの） ③日本での留学・就学歴がある場合には、出席・成績証明書
5	写真（カラー写真）	① 最近3ヶ月以内に撮影したカラー写真（縦4cm×横3cm） ② 4枚（1枚は入学願書に貼付） ③ 全ての写真の裏に国籍・氏名を明記	
6	パスポートのコピー	パスポート保持者のみ提出 すべてのページをコピーすること	
7	現在の身分証明	① 提携校・準提携校の新卒業者、卒業見込み者は提出不要 ② 日本在住者は「登録原票記載事項証明書」	
8	健康診断書	所定用紙	

(2) 身元保証人の書類（入学後の保証人になられる方の証明書）

9	身元保証書 （所定用紙）	身元保証人が必ず自筆してください。（代筆不可）
10	住民票	保証人が日本在住外国人の場合は「登録原票記載事項証明書」

(3) 経費支弁者の書類（経費を支弁する方の証明書）

11	経費支弁書 （所定用紙）	① 経費支弁者が必ず自筆してください。（代筆不可） ② 日本語訳用の所定用紙を使用してください。
12	在職証明書	下記のいずれか一つ（日本語訳添付） 「在職証明書」・「法人登記簿謄本」・「営業許可書」
13	収入証明書	① 過去1年間の収入金額が入った収入証明書及び課税証明書 ② 日本在住の場合は、過去1年間の収入証明書または、残高証明書 ③ 日本語訳添付

(4) その他（入学検定料）

14	入学検定料振込確認票 (所定用紙)	入学検定料 15,000 円を振込み後、その控え(領収書・振込証明控)を貼って提出してください。海外在住者は FAX で送信してください。
----	----------------------	---

10. 選考方法

- (1) 提携校・準提携校等大学が認めた紹介者の推薦による出願は、書類のみで選考します。
(2) それ以外の出願は、書類選考および本学での面接により選考します。

11. 選考日程・納付期限

	提携校等推薦志願者			一般志願者		
	第一次	第二次	第三次	第一次	第二次	第三次
願書締切り	2013年 4月24日	2013年 6月12日	2013年 8月30日	2013年 4月24日	2013年 6月12日	2013年 8月30日
面接	なし	なし	なし	随時	随時	随時
合格発表	5月10日	6月26日	随時	5月10日	6月26日	随時
入学金納付期限	6月26日	7月10日	9月15日	6月26日	7月10日	9月15日
授業料及び諸経費等	9月28日	9月28日	9月28日	9月28日	9月28日	9月28日

注①第三次募集については、原則として日本国内在住者に限り応募の受付を行う。

②面接の方法は、海外在住等を考慮し、その都度お知らせします。

12. 学費

(単位：日本円)

項目	全納	分納	
		I期	II期
入学金	150,000	150,000	
授業料	500,000	250,000	250,000
その他諸経費 (教材・学生保険等)	40,000	40,000	
入学納付金 合計	690,000	440,000	250,000

注)

- ①海外在住の志願者は、合格証受領後すみやかに(納付期限前に)入学金のみを指定の口座に振り込み、その控えを、「入学金振込み確認票」(所定用紙)に貼付し、必ず FAX にて横浜商科大学 別科日本語研修課程事務室「+81-45-571-4125」宛に送信してください。入学

金以外の納付金は日本に入国後、2013年9月28日（木）までに本学に持参または銀行振り込みでお支払いください。

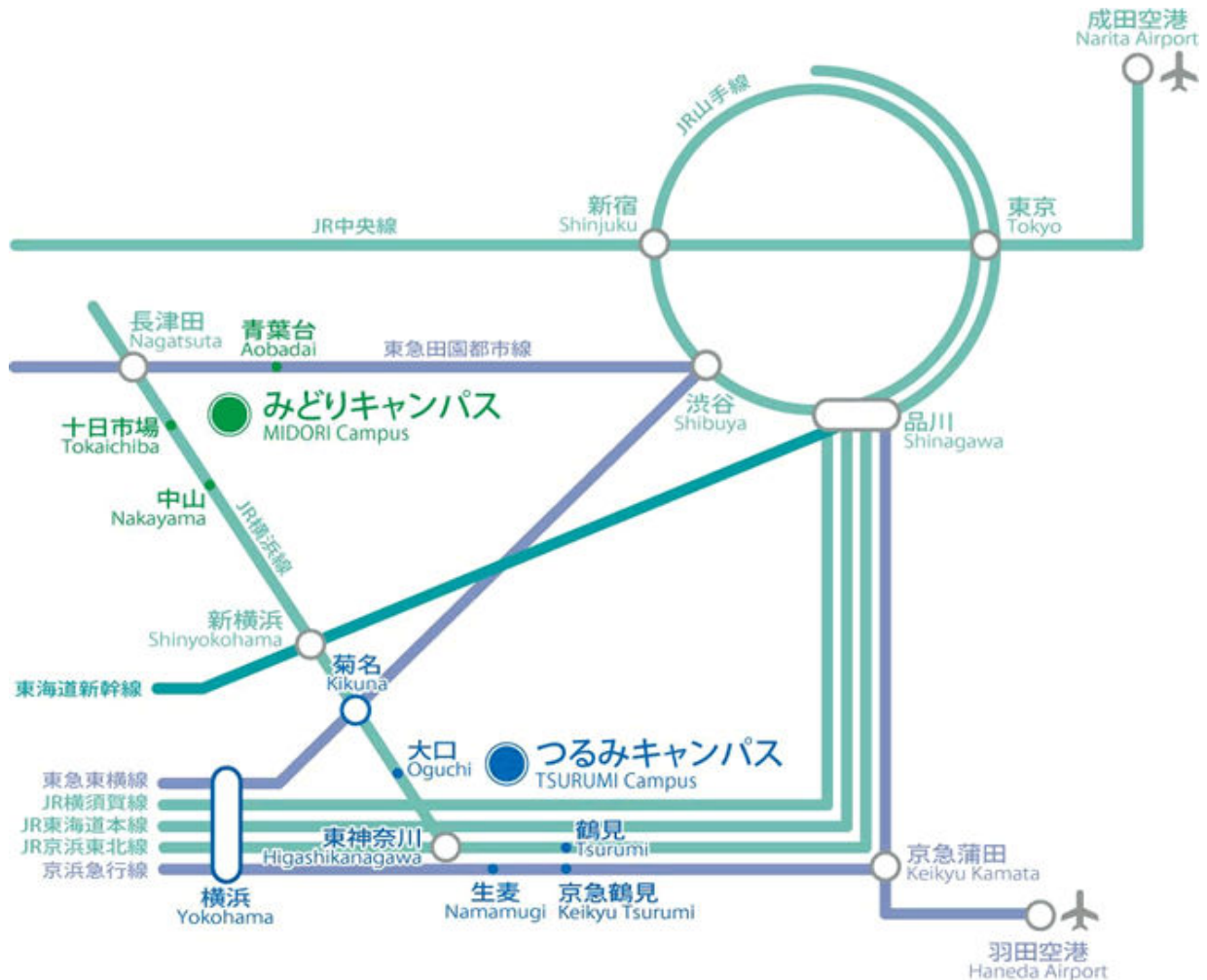
- ②入学納付金は日本円になります。
- ③授業料については、2期に分けて納入することができます。
- ④入学金はどのような理由があっても返金しません。

13. ビザ取得の流れ

留学生別科の学生は、留学ビザを取得しなければなりません。海外在住者のビザの申請は、つぎのようにおこないます。

- ①合格発表。
- ②合格者からの入学金振込み確認後、本学が直ちに入国管理局へ在留資格認定証明の代理申請をおこないます。
- ③「在留資格認定証明書」が入国管理局より発行されます。
- ④「在留資格認定証明書」および本学発行の「入学許可書」を合格者に郵送。
- ⑤本人が、現地日本大使館または領事館、台湾は交流協会へ「入学許可書」、「在留資格認定証明書」を持参しビザの申請をおこないます。
- ⑥ビザを取得後、来日します。
- ⑦日本入国後の詳細については、合格発表時にお知らせします。

14. 横浜商科大学へのアクセス



生麦駅（京浜急行線）より徒歩約 15 分

大口駅（JR 横浜線）より徒歩約 20 分

鶴見駅（JR 京浜東北線・鶴見線）西口バスターミナル 3・4 番のりばより全てのバス（市営 38 横浜駅西口行ほか、市営 41 新横浜駅行・川向町行ほか）で飯山（いいやま）下車、徒歩約 5 分

横浜駅（JR 線・東急東横線・みなとみらい線・京浜急行線・相鉄線・横浜市営地下鉄線）東口バスターミナル 15 番のり場より全てのバス（市営 7 川崎駅西口行・市営 29 鶴見駅行）で岸谷（きしや）下車、徒歩 5 分

菊名駅（JR 横浜線・東急東横線）より市営 41 鶴見駅西口行で飯山（いいやま）下車、徒歩約 5 分



出願先および問合わせ先

横浜商科大学別科日本語研修課程事務室

〒230-8577

神奈川県横浜市鶴見区東寺尾4-11-1



TEL 045-571-3901

FAX 045-571-4125



<http://www.shodai.ac.jp>

横浜商科大学 別科日本語研修課程の授業について

留学生別科では日本語習熟度別のクラスでおこないます。この課程に1年間在籍し、所定の単位を修得した上で、日本語能力試験または日本留学試験の「日本語」科目を受験した者に修了証を授与します。なお、授業は次の通りおこないます。

1. 学期

授業は2学期制（1学期15週）でおこないます。

秋期 2013年10月1日（火）～ 2014年3月31日（月）

春期 2014年4月1日（火）～ 2014年9月30日（火）

2. 授業時間

日本の大学の授業は1コマが90分です。別科修了後の大学進学を考えて、授業は1コマ90分の時間割編成です。ただし、学生のレベルや授業への集中力を考えて、途中で休みを取り入れるなど、学生が授業に早く慣れるよう考えて弾力的におこないます。（時間割表参照）

時間割表（モデル）

	月	火	水	木	金	土
1 時 限	文型・文法	文型・文法	文型・文法	文型・文法	文型・文法	英語 （選択）
2 時 限	聴解	読解	聴解	読解	聴解	ビジネス 基礎（選択）
3 時 限	読解	聴解	読解	聴解	読解	
4 時 限	口頭表現	文章表現	口頭表現	文章表現	日本事情	

3. クラス編成

日本語の授業はAクラス（上級者）、Bクラス（中級者）、Cクラス（初級者）に分けて習熟度別におこないます。

4. カリキュラム・修了要件

授業は前期・後期の1年間を通して40単位の必修科目と、留学生別科修了後の大学進学を念頭において開講するビジネス系科目・英語科目を選択科目として履修します。（5.カリキュラム参照）

各科目の授業に80%以上出席し、必修科目を40単位修得の上、大学入学の条件の一つでもある日本語能力試験または日本留学試験の「日本語」科目のどちらかを受験した者に、修了証を授与します。なお、修了者が学部に進学したときは、留学生別科で修得した科目（単位）の一部が大学で単位として認定されます。

5. カリキュラム(モデル)

	レベル	授業科目	単位	講義等の概要
日本語科目 (必修科目)	<初級>	文型・文法 A	10	実用的な初級日本語文法の修得。
		読解 A	10	簡単な文章やメモを読解する力の養成。
		聴解 A	10	日常生活の各場面における聴解能力の修得。
		口頭表現 A	4	日常生活の各場面における会話能力の修得。
		文章表現 A	4	基本文型を使用した短作文、簡単な文書の作成能力養成。
	<中級>	文型・文法 B	10	中級の文法の修得。
		読解 B	10	簡単な言葉で書かれた文章の内容理解。
		聴解 B	10	多分野の文章聴解能力修得。
		口頭表現 B	4	スピーチや会話能力の修得。
		文章表現 B	4	記述文・感想文を使い分け、やや高度な表現を用いた文章を作成する力の養成。
	<上級>	文型・文法 C	10	上級の文法の修得。
		読解 C	10	評論、時事問題などを含む高度な文章の読解能力養成。
		聴解 C	10	ニュース、講義における日本語聴解能力の養成。
		口頭表現 C	4	ディスカッション、発表などに必要な発話能力の養成。
		文章表現 C	4	論理的な文章の展開技能修得。
日本事情科目 (必修科目)		日本事情	2	異文化理解能力を高める。日本語だけでなく、日本社会・文化に対する理解を深め、複眼的な思考を身につける。
単位合計：			40	
英語科目		英語	2	2つのレベルに分ける。(日本語のクラス分けとは異なる) 初級者向け：日本留学試験対策 中級者向け：日本留学試験対策
ビジネス系科目		ビジネス基礎	2	学部入学後に単位認定可能な商学系、経営学系の基礎的な科目の用語、意義、理念等を現実に照らし合わせつつ学ぶ。
単位合計：			4	

